2011年度科学技術計算分科会　アンケート結果

●テ ー マ ：　ペタスケール時代のData Intensive Scienceとストレージ
●開催月日：　2011年10月19日(水)
●開催場所：　ANAクラウンプラザホテル神戸

■参加者区分・アンケート回収状況

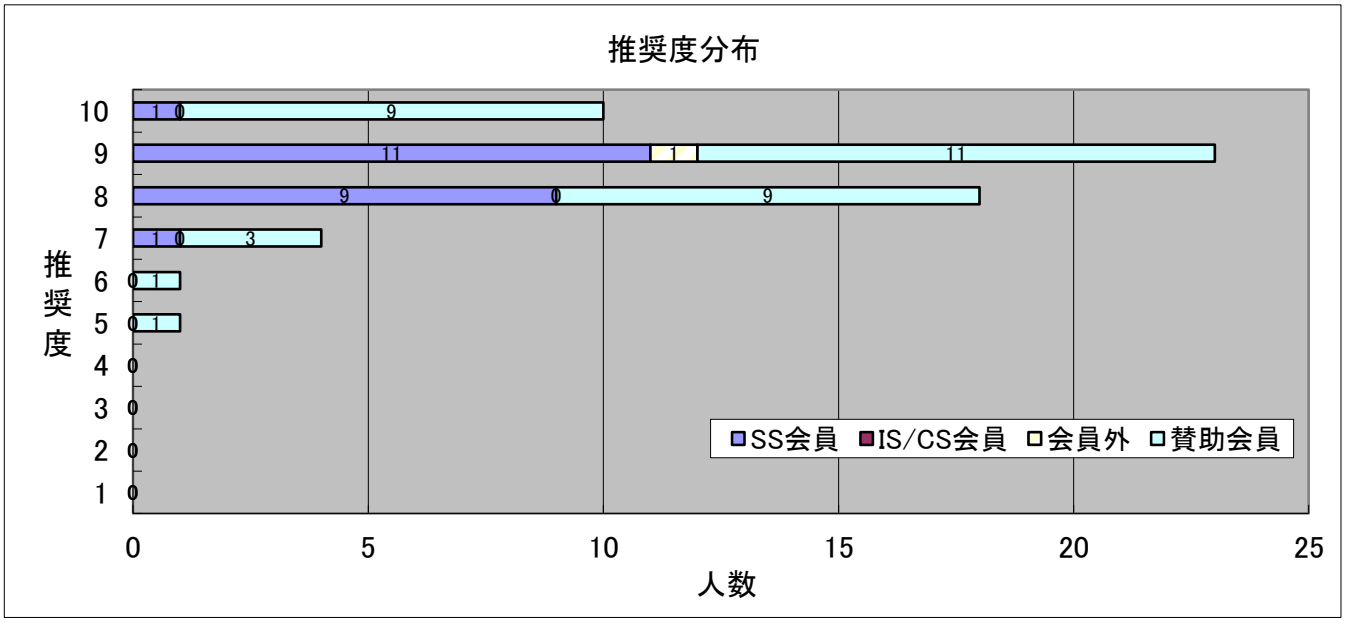
	参加者数	回収	回収率
SS会員	36	23	64%
IS/CS会員	0	0	―
会員外/未記入	3	1	33%
賛助会員	55	34	62%
合計	94	58	62%

※「会員外/未記入」欄は、回収数に会員種別未記入者を含むため、回収率が100%を超える場合がある。

1.推奨評価

推奨率 ： 54.4%　（推奨者：33　中立者：22　批判者：2　）

SS会員：54.5%　IS/CS：ー　会員外：100.0%　賛助会員 52.9%



推奨度：設問「本会合をどのくらい人に推奨したいと思いますか」に 0点～10点の11段階で回答してもらったもの。
推量率：10点～9点を推奨者、8点～7点を中立者、6点～0点を批判者とし、「推奨者数−批判者数/全体数」で算出した数値。

＜推奨／非推奨理由＞

区分 点 コメント
9 各研究分野の背景や現状がよく分かる。使う人・作る人の気持ちをお互いに考える貴重な機会。
9 サイエンスのアクティビティと技術トレンドが同時に聞ける。
8 HPCユーザからベンダーへの生の声を聞ける機会は少ないので開発者として貴重な場。
8 ユーザのサイエンスと自分達が日々開発に取り組んでいるシステムの関係を知ることができて有意
8 ユーザの使い方や、今後望まれるものを、ユーザから直接聞ける場として、非常に有益。
9 実際の運用サイトの話が聞けて勉強になる。
10 様々なユーザ事例を聞くことができる。
8 ベンダーの抱える問題点など、普段の業務で意識できなかった部分を知ることができる。
9 最新情報に触れることができる。
8 有意義な話題/議論に接することができる。
8 いつもタイムリーな深い話が聞ける。

2. 今後取り上げて欲しいテーマ

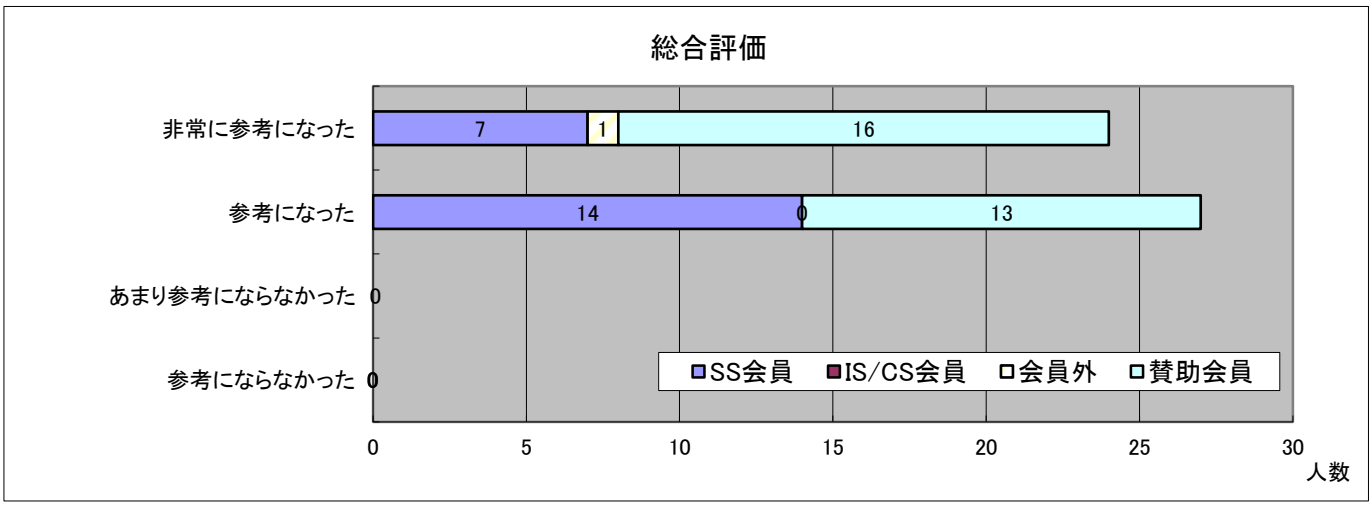
	テーマ名	合計	SS会員	IS/CS	会員外	富士通
1	エクサスケールコンピューティング	29	11	0	1	17
2	ストレージ	16	5	0	1	10
3	GPGPU	16	6	0	0	10
4	運用による省電力	15	8	0	0	7
5	ジョブスケジューラ	14	5	0	1	8
6	冷却技術	11	5	0	0	6
7	パフォーマンス/チューニング	11	5	0	0	6
8	ベクトルマシン	10	7	0	0	3
9	アクセラレータ	10	5	0	0	5
10	並列化(MPI, OpenMP,自動並列化,他)	10	4	0	0	6

＜その他のキーワード＞
・アウトリーチ、 ・京が動き出すので、実利用のためのツール/チューニング/言語など、
・hadoop、 ・量子コンピュータ、 ・メニーコアコンピューティング、 ・サイエンス分野のクラウド

3. 総合評価

全体平均：4.47

SS会員：4.33　IS/CS：ー　会員外：5.00　賛助会員：4.55



＜コメント＞
・ とても内容が深く、興味深かった。
・ Data Intensive Science最前線の話が聞けて良かった。
・ 大量データの必要性とその課題などがよく分かった。
・ どこの組織もほぼ同じ考えを持っていることが分かった。
・ 日ごろ意識することが少ないストレージについて、再認識することができた。
・ 興味深い講演が多く、とても楽しく聞かせていただいた。

4. 運営について（開催地、会場、配付資料、プログラム配分など）

発表時間が十分で良かった。
駅から近い会場でありがたかった。
全体的に良かった。
他の地域での開催を希望する。

以上

2011年度 科学技術計算分科会【懇談会】 アンケート結果

●テ ー マ： GPUコンピューティングはこのまま続くのか
●開催月日： 2011年10月19日(水)
●開催場所： ANAクラウンプラザホテル神戸
●モデレータ： 朴泰祐(筑波大学)
●パネリスト： 井上弘士(九州大)、丸山直也(東工大)、大島聡史(東大)、成瀬彰(富士通研)

■参加者区分・アンケート回収状況

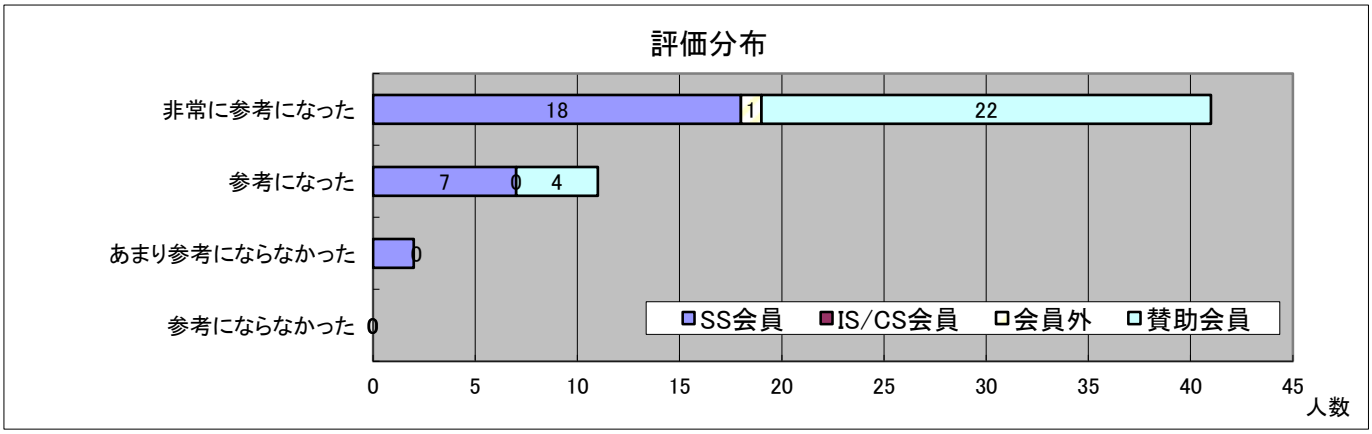
	参加者数	回収	回収率
SS会員	30	27	90%
IS/CS会員	0	0	―
会員外/未記入	3	1	33%
賛助会員	52	26	50%
合計	85	54	64%

※「会員外/未記入」欄は、回収数に会員種別未記入者を含むため、回収率が100%を超える場合がある。

1. 評価

全体平均：4.69

SS会員：4.52　IS/CS：ー　会員外：5.00　賛助会員：4.85



2. コメント

- 視点が違う意見が多く出て面白かった。
- たいへん面白かった。本音の話が聞けて良かった。
- 懇談会はいつもたいへん面白い。
- きちんと議論ができて、本来の懇談会の姿で良かった。
- パネリストの人選が良かった。
- パネリストに若い人が多くて良かった。
- 論点をもう少し絞った方が、深い議論になったと思う。
- もう少しウラの話も聞きたかった。(MICを含めて)
- アプリの話が見えにくいので、もう少しアプリの話題に振ったほうが良かった。
- 質問に対する回答を集約して、パネリスト間で討論させても面白かったと思う。
- パネリストの方々が、それぞれの視点での切り口で話されていて、特徴的で面白かった。
- GPUコンピューティングは詳しく知らないことが多かったが、議論がとても参考になり楽しく参加できた。
- GPUコンピューティングは興味があったので非常に参考になった。HPCに対する視野が広がった。

3. 今後の懇談会テーマ案

- 富士通スパコンの民間展開ビジネスについて
- 本当にエクサは実現できるのか
- エクサ
- 3年後に今回と同じテーマで
- GPUに限らずもっと広くHPCアーキを語る
- 「京」を使ってみた感想

以上